

今からはじめる 障害福祉のお仕事



- 02 障害福祉の仕事とは
- 03 障害福祉の仕事 5つの魅力
- 05 働く人の声

障害児サービス（児童発達支援）
施設入所支援

07 よくある質問（Q&A）

08 障害福祉の仕事をしてみたい！ と思ったら

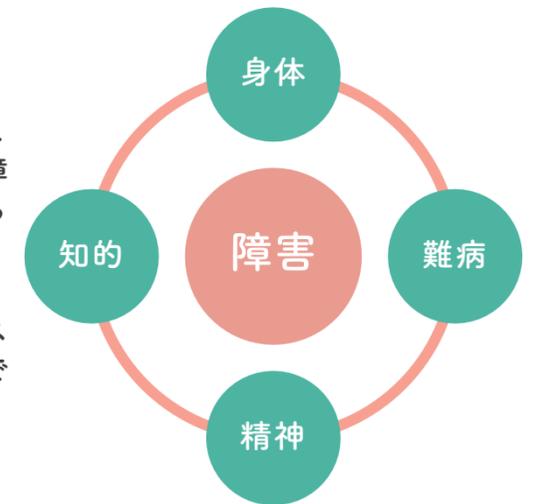
障害福祉の仕事とは？

幅広い方法で障害者を支援しています。

障害福祉とは、障害のある方が自らの望む生活を営むことができるように支援することを言います。それぞれの障害の中で、個別の状態や症状がありますので、求めている支援も多岐に渡ります。

例えば、障害のある方の状態やニーズに適したサービスにつなぐための相談や、買い物や外出の支援、入所施設での介護、共同住居での生活支援などさまざまです。

障害福祉の仕事とは、そのような支援に携わることですが、さまざまな個性や想いに触れられる魅力ある仕事です。

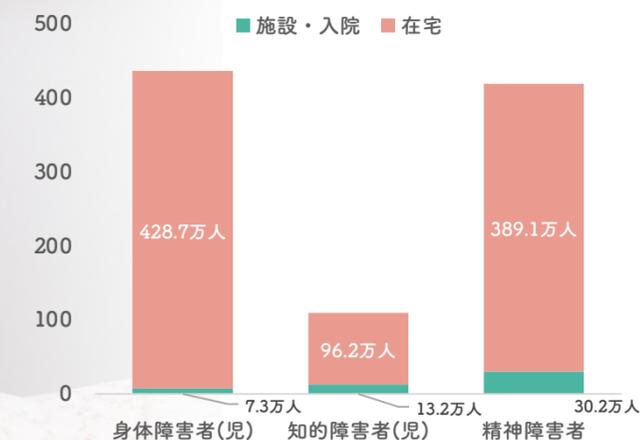


「障害」と言っても種類は様々

全国の現状は？

全国には多くの障害者があり、その方々を支える多くの障害福祉サービスがあります。

障害者の数



出典：生活のしづらさなどに関する調査
(全国在宅障害児・者等実態調査)

事業所の種類別にみた事業所数



出典：平成30年社会福祉施設等調査



障害福祉の仕事5つの魅力

1 「ありがとう」 が生まれる

障害福祉の仕事をする中で、利用者やその家族から感謝されることがあります。自らの仕事に対して生まれる「ありがとう」の喜びは、この仕事ならではの醍醐味です。



2 自分の成長が 感じられる

障害福祉の仕事を通して、専門的な知識や技術を身につけることができます。

利用者への支援を通して、自身の視野を広げられるだけでなく、サービス管理責任者や相談支援専門員など、具体的なキャリア形成が可能で、自分の成長を感じやすい仕事です。

3 命の尊さが 学べる



さまざまな困難や逆境を抱える人が力強く生きる姿に、命の大切さを改めて学ぶことができます。



4 社会貢献、 地域貢献が できる

困っている人に寄り添う活動は、社会への貢献度が高く、社会福祉としても重要な役割を担います。

また、障害があるなしに関わらず、地域で共生していくことが求められているため、自らのアイデア次第では、積極的な地域貢献ができます。



5 安定した 将来性が ある仕事

障害福祉サービスは法律に位置付けられたサービスです。それは社会的に必要だと認められている仕事ということです。

また、国を挙げての積極的な待遇改善も図られているため、長く安定して働くことができます。



01

社会福祉法人からしだね
うめだ・あけぼの学園

障害児サービス
(児童発達支援)

小淵 紀子様

臨床発達心理士



子どもから学び、自分の成長を感じられる

自閉症の子どもとの出会い

大学卒業後、幼稚園に勤めていました。そこで自閉症の子どもと出会って「この子どもとどうしたら仲良くなれるかな」という想いをずっと抱いていました。結婚して幼稚園は辞めたのですが、子育ても落ち着いたので再チャレンジしたい気持ちが強くなり、今の仕事に就きました。



試行錯誤しながら成長できる

仕事としては、支援の必要なお子様へ総合的な療育を提供しています。保護者の悩みや相談と一緒に考える時間も大切にしています。この仕事は悩みが尽きず、考えることも尽きません。常に試行錯誤の日々ですが、飽きることもなく、成長を感じられるのも仕事の魅力ですね。

多くの学びが得られる仕事

仕事は楽ではありませんが、充実感があります。お子様の成長を通して多くの学びも得られます。私自身、何かあった時でも打開しようとする力が少しずつ育ってきたかな、とも感じています。お子様や保護者の方と笑ったり、泣いたりしながら、長く仕事を続けていきたいです。



02

社会福祉法人
まりも会・清瀬療護園

施設入所支援

高橋 恵梨子様

生活支援員



笑顔をうみだし、笑顔をつなげる

転職当時、笑顔に癒される

私は以前、接客業の仕事をしていました。もともと人が好きな性格だったのですが、介護職の妹から仕事の話聞き、自分も挑戦したいと思うようになりました。転職当時は覚えることが多くて知恵熱が出るくらい大変でした。そのときは利用者様の笑顔に癒され、励まされました。



未経験者から介護福祉士へ

未経験で入職した私ですが昨年度、介護福祉士の資格を取得できました。技術面だけでなく知識も身につけることが出来て少しは成長しているのかな、と感じています。仕事では接遇マナーを大切にしています。利用者の立場から、どんな支援を望んでいるのか常に考えています。

生涯の伴侶と笑顔をつなげる

実は、主人と出会ったのは今の職場なんです。今は仕事を終えて帰宅すると子どもたちが笑顔で駆け寄ってきてくれます。私はこの仕事を通して多くの人とつながり、学び、成長することが出来ました。素敵な仕事なので、転職や就職を考えている方はぜひチャレンジして欲しいです。



よくある質問 (Q&A)

Q1 女性が働き続けられる職場ですか？

A 女性が活躍する職場です。

職員3人のうち2人以上が女性だと言われています。また、障害福祉には乳幼児から高齢者向けのサービスがあり、活躍のフィールドが広い職場です。

Q2 勤務時間は平均でどのくらいですか？夜勤はありますか？

A 多様な働き方ができます。

1週間の労働日数は5日が最も多く、1週間の労働時間31～40時間が最も多くなっていますが、次いで10時間以下も多いため、多様な働き方が認められている職場と言えます。施設やグループホームなどでは夜勤があります。1か月に1～5日程度の夜勤を行うことが多いです。

Q3 精神的負担・身体的負担は大きいですか？

A ときには負担を感じることもあります。

支援の結果がうまくいかなかったり、仕事を任せ過ぎで、負担や不安を感じることもあります。

しかし、仲間からの助言や利用者とのコミュニケーションの中から次に活かせるヒントが見つかることもあり、うまくいったときの感謝の笑顔に癒やされることも多いです。

Q4 未経験でも働けますか？

A 未経験者や他の分野からの転職者も多くいます。

未経験者でも働ける職種があり、実際に多くの未経験者や転職者が働いています。サービスによっては他産業のスキルが活かせることもあります。

Q5 研修制度や手当は充実していますか？

A 国を挙げて充実が図られています。

障害福祉計画の策定に係る指針において、専門性を高めるための研修の実施などが盛り込まれています。

ガイドヘルパーなどの専門的な研修や実務経験を積んだ上での相談支援専門員やサービス管理責任者などを目指す研修などが幅広く用意されています。

また、処遇改善加算など国を挙げて積極的な待遇改善が図られています。

Q6 将来性がありますか？長く働けますか？

A 社会的に必要とされている仕事です。

近年、障害福祉分野で働く方はエッセンシャルワーカーとも呼ばれ、障害者やその家族が日常生活を行う上で、必要不可欠な存在となっています。

また、近年、経験・技能を有する人材への重点的な待遇改善が図れております。

障害福祉の仕事をしてみたい！と思ったら

福祉人材センター

福祉人材センターでは、福祉・介護の求人を探ることができます。各都道府県に設置されている都道府県福祉人材センターへご相談ください。

福祉のお仕事 お仕事 検索・応募 施設事業所 検索

福祉人材センター・バンク はじめてご利用の方へ 福祉のお仕事ナビ 福祉の資格ナビ 有資格者の届出 発行書籍のご案内 統計・調査

「福祉のお仕事」では、全国の福祉人材センター・福祉人材バンクより福祉・介護の求人情報をお探しいただけます。

福祉人材センター： <https://www.fukushi-work.jp/>

人材確保対策コーナー

ハローワークには、福祉のお仕事の求人などを取り扱っている「人材確保対策コーナー」という窓口があります。コーナーでは、福祉関係のお仕事の紹介や相談のほか、各種セミナーや事業所の見学会などを行っております。

コーナー入口風景 相談窓口風景

<https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/0000188045.html>